



輝け!未来

板倉
いたくら・たいが

大河さん
坂部小学校6年 坂部区



ぼくの夢は、プログラマーになること より便利な生活ができる世の中にしたい

ぼくは、プログラミングを活用した仕事をしたいです。マイクロビットを使った授業で、明るさや傾斜に反応してライトを点灯させることができ、とてもおもしろいと思いました。プログラミングを使うといろいろな物が作れそうです。ぜひ、生活に役立つ物を作って、より便利な生活ができる世の中にしたいと思います。

ペンを置いてー編集幸記

▼私は6年ほど市外に住み、最近市内にUターンしてきたのですが、驚いたのが、スーパーなどのお店に外国人がとても多いこと▼調べてみると、ここ数年で市の人口に占める外国人の割合が急激に増加していることがわかります。そしてそれに伴い、地域や学校などで、多くの課題が浮き彫りになっています▼そんな中、11月から始まった「はじめての日本語教室」では、日本語を話せないブラジル国籍の26人が、約50人の市民サポーター（ボランティア）の皆さんと一緒に日本語を学んでいます。私が取材した4回目の教室では、とても和やかな雰囲気の中、消火器や119番通報を実践しながら学んでいました。教室は来年2月まで、さまざまなテーマで全12回開催されます▼こうした取り組みにより、地域の皆さんと外国人の皆さんの双方の理解が進み、誰もが住みよいまちにつながるといいと思います。

